

令和7年度 第3回 学校運営協議会 議事録

日時：令和8年3月12日（木）15:00～16:30

場所：本館2階 セミナールーム021

1. 開会

資料確認の後、出席者が過半数に達していることを確認し、会議の成立を確認。

2. 校長挨拶

卒業式の実施と101名の卒業、入学者選抜の状況、全学科での定員割れとその背景、本校の教育活動や学科構成が現在のニーズに合っているか検証していく必要性について共有し、委員に意見を求めた。

3. 委員紹介

4. 職員・事務局紹介

5. 協議

(1) 令和7年度 学校評価報告

① 教育課程・学習指導

【学事グループ】新カリキュラム導入に伴い、教育的効果と課題を各教科から集約した。専門的な学びの充実や他学科交流の広がりが評価された一方、情報科目の扱い、単独クラスにおける人間関係、学科単位での柔軟な授業運営に課題が見られた。完成年度まで継続してデータを収集し、次期学習指導要領も見据えて検証する。

【広報情報グループ】「教えて考えさせる授業」の勉強会を継続実施し、授業中の支援や指導法の共有を進めた。研究授業や授業評価では、教科や授業形態による差異も把握でき、結果は各教科で共有し改善に生かしている。魅力と特色アンケートでも、学科差はあるが概ね8割以上が満足傾向であった。

【生徒活動グループ】体育祭・文化祭はいずれも生徒評価が高く、体育祭は熱中症・雨天対策として会場をアリーナに変更し、新種目も含めて円滑に実施できた。来年度も同様の方向で準備を進める。

② 生徒指導・支援

【生活指導・支援グループ】参加型・体験型講演会や教育相談体制の見直しを進めた。オンライン講演会ではネットワークや音声面の課題があったため、次年度は小集団での実施を検討する。制服は気候変動に対応した新素材への見直しを進め、相談支援では全員面談の実施時期を前倒しした。外部アンケートは有効性がある一方で費用と教員負担が課題であり、実施方法を精査する。

③ 進路指導・支援

【キャリアグループ】卒業生 101 名の進路は、就職 51 名、大学 6 名、短大 12 名、専門学校 27 名、その他 5 名で、全体として就職割合が増加した。学科によって就職・進学傾向に差があり、個に応じた指導が必要である。基礎学力や文章表現力の不足、進路意識の定着の弱さが課題であり、インターンシップの効果を生かしつつ指導方法を工夫する。

④ 地域等との協働

【広報情報グループ】学校 HP、X、連絡アプリ、自治体広報紙等を通じた情報発信を継続した。各学科の特色を生かし、幼稚園・小中学校・駅・町役場等との交流も毎月実施している。次年度は連絡アプリを変更し、保護者・在校生への周知を円滑に進める。

⑤ 学校管理・学校運営

【管理グループ】自治体との協定見直しと校内危険箇所への対応を進め、今後も定期点検を継続する。

【教頭】業務のシステム化は進めているが、長時間労働や持ち帰り業務の改善はなお課題である。産業医面談も実施し、原因分析と改善策の検討を進めている。不祥事防止研修は教員講師により継続実施している。

【主な質疑・意見】

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの連携、実習時の暑さ対策、単独クラスにおける人間関係支援、地域連携事業への期待、専門高校の魅力発信、コミュニケーション能力の育成、入学時と卒業時の人数差、今後の進学・就職動向などについて意見交換が行われた。

6. 報告事項

(1) 各年次より生徒の様子

【3年次】101 名が卒業。入学時 123 名であり、ミスマッチや人間関係等を背景に途中退学があった。中学校への魅力発信の改善が必要である。

【2年次】修学旅行を終え、学校生活には慣れているが、人間関係面の課題が見られる。思いやりある行動と進路意識の向上を図る。

【1年次】117 名入学、現在 114 名在籍。次年度からの専門学科での学びを見据え、意欲ある生徒をさらに伸ばしていく。

7. その他

副校長より、今年度最終回であること、次年度も委員継続を依頼したことが伝えられた。

開成町よりあじさい祭り開催への協力依頼があった。

8. 閉会

校長より、学習指導要領改定や「ネクストハイスクール」構想など今後の制度動向が共有され、今回の意見を次年度以降の学校運営に生かしていく旨が述べられた。